※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	生活支援技術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「生活支援技術」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次のエリア指定科目「介護福祉基礎」で学んだ介護知識・技術を発展させ、施設実習や支援学校との交流を通してより一層高齢者や障がい者の理解を深める。
施設実習を通じて、地域との連携をはかる。
福祉制度や福祉に関する問題を学習し、課題を考察する。

2　学習の到達目標

・利用者の自立の支援を目的とする介護の役割を理解するとともに、基礎的な介護の知識と技術を身に付ける。
・さまざまな介護場面の中で、利用者の立場を重視した適切かつ安全な介護技術を実践に移す能力と態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎的な介護の知識のもと、利用者の生活状況を的確に把握し自立と安全を重視した活動を実践していく能力を身に付けている。	基礎的な介護のあり方、介護実践の根拠となる人体の構造や機能について理解し知識として身に付けている。	介護を実践していく上でその望ましい方法を利用者視点で考え表現する能力を身に付ける。 実習に前向きに取り組むとともに、自立を支援する介護のあり方に関心、意欲を持って学び、加えて知識の定着と技術の向上をめざす態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	私たちの暮らしと生活支援	1. 生活支援の理解	a: 利用者の生活、尊厳を重視した生活支援のあり方を理解した上で疾患、障害の形態、他職種が持つ役割、アセスメントの方法など必要な知識を身に付けている。 b: 利用者の尊厳を重視した生活支援のあり方を考え、自らの介護観、倫理観として的確に理解する能力を身に付けている。 c: 利用者の尊厳を重視した生活支援に関心を持ち、ＩＣＦの視点によるアセスメントの方法を意欲的に学ぶ態度を身に付けている。	授業観察 定期考査	授業観察 定期考査	授業観察 ノート提出 感想課題 実習観察
		2. 生活支援に向けたアセスメント		授業観察 定期考査		授業観察 ノート提出 感想課題 実習観察
前期期末	自立に向けた生活支援技術	１．居住環境の整備 ２．家事の介護 ３．身支度の介護 ４．移動の介護 ５．食事の介護 ６．入浴・清潔保持の介護 ７．排せつの介護	a: 利用者と関わる上で必要な基本的、総合的な介護に関する理論について理解し、知識として身に付けている。 b: 利用者の心身の状態や状況に応じた望ましい介護のあり方を考える能力を身に付けている。 c: 日常生活の中で起こる介護の具体的な場面を想定し、利用者の立場を重視した適切かつ安全な介護技術を正しく実践に移すこ	授業観察	授業観察	授業観察 ノート提出 感想課題 実習観察
				授業観察	授業観察	授業観察 ノート提出 感想課題 実習観察

※令和４年度以降入学生用

後期中間		８．睡眠の介護 ９．レクリエーションにおける介護	とができる。また、利用者の尊厳を重視した生活支援に対する介護に関心を持ち、必要な技術を意欲的に学ぶ態度を身に付けている。			
後期期末	終末期・緊急時の介護	1. 終末期の介護 2. 緊急時の介護	a: 終末期や緊急時の介護のあり方についてその基礎的な理論を理解し、知識として身に付けている。 b: 終末期や緊急時における介護のあり方についてその望ましい方法を考える能力を身に付けている。 c: 終末期や緊急時の介護に関する事例を題材に、実際の介護活動の方法について的確に考えをまとめ発表することができる。終末期や緊急時の介護のあり方に関心を持ち、必要な知識・技術を意欲的に学ぶ態度を身に付けている。	授業観察	授業観察	授業観察 ノート提出 感想課題 実習観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度